

氷見市に100万円寄付

大成和

土木建設業の大成和（氷見市）は27日、能登半島地震からの復旧事業に役立ててもらったため、市に100万円を寄付した。干場正経社長が市役所に菊地正寛市長を訪ね、目録を手渡した



「写真。能登で復旧作業や炊き出しなどのボランティアに携わってきた干場社長は「氷見の復興のため恩返ししたい」とあいさつした。

復興支援へ100万円

大成和が市に寄付

氷見市阿尾の土木建設業、大成和は27

日、能登半島地震の復興復旧事業に役立ててほしいと市に100万円を寄付した。

干場正経社長「写真右」が市役所を訪れ、菊地正寛



市長に目録を手渡した。自身も被災した干場社長は「能登や氷見で復旧工事に

携わる傍ら、炊き出し支援なども行い、復興はみんなの協力があってこそ成し遂げられると感じている。自分たちなりに氷見にできることをしたい」と述べた。市長は「大切にに使わせていただく。復旧に引き続き、力添えをいただきたい」と話した。同社の中居靖常務、松田協営業本部長が同席した。

富山新聞

北日本新聞